

2016年2月1日 決算説明会 質疑応答（抜粋）

Q: 茨城県で開設予定の新物流センターが稼働すると現センターと合わせて在庫点数が40万～50万SKUとのことだが具体的な在庫拡大スケジュールは？

A: 現在の拡大ペースは年5～6万SKUであり、そのペースだと4～5年で到達する見込みとなる。

Q: PB比率の現状と2016年度の見込みは？

A: 現状22%から少し上がっておよそ23%。2016年度は24%程度を見込む。

Q: 商品管理システムの高度化により取扱いが可能になるカスタマイズ商品はEコマース向きではないのでは？

A: 商品の選定や見積りに手間がかかるものほど、そのプロセスをシステム化する価値が高い。

Q: 間接資材Eコマースの参入者が出てきているが特に意識する競合は？

A: 特定の相手を意識することはない。自社のサービスレベルを上げていくのみ。特に当社ならではの価値が提供できるプライベートブランド商品の拡充に注力していく。

Q: 海外事業の進捗について。

A: 韓国事業は当初想定していなかった厳しい経済環境の影響で進捗が少々遅れているが新規顧客の獲得など順調な成長と見ている。ロイヤリティ事業も順調な進捗で特にリスクはない。

Q: 瀬戸会長のGrainger退任とLIXIL社長就任で考えられるプラス、マイナスの影響は？

A: Graingerとの関係はビジネスとして確立されており退任の影響はない。プラスの影響も想定していない。